

外国人留学生特例科目
履修要項

2022

令和4年度

近畿大学

目 次

I. 外国人留学生特例科目の履修方法	1
II. 外国人留学生特例科目		
1. 令和2～4(2020～2022)年度入学生		
(1) 外国人留学生特例科目表	6
(2) 外国人留学生特例科目 時間割	7
(3) 外国人留学生特例科目の科目名とその概要	8～9
2. 平成27～令和元(2015～2019)年度入学生		
(1) 外国人留学生特例科目表	10
(2) 外国人留学生特例科目 時間割	11
(3) 外国人留学生特例科目の科目名とその概要	12～13
III. 外国人留学生の共通教養科目・ 外国語科目の履修に関する特例について	14～15

近畿大学の教養教育の目的と目標

前文

近畿大学の建学の精神は、未来志向の「実学教育」と「人格の陶冶」にあり、教育の理念である「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」を育成することを教育の目的としている。この建学の精神に基づき、社会の発展に貢献できる有為な人材を育成するために、教育の中核に教養教育と専門教育を据え、それを通して総合的な教育を行うところに、本学の教育の特色がある。

さらに、近畿大学は、「世の中になくものを創り、生み出す」ことを社会的使命と任じ、新たな地平の開拓へ果敢に挑戦する人材を育成する。このような観念に立脚し、近畿大学の教養教育の目的を次のように謳うものである。

目的

「近畿大学の教養教育は、幅広い知識と深い洞察力を培い、豊かな人間関係と確かな主体性を確立することを目的とする」

この目的の達成のために以下の目標をおく。

1. 個人の自由と平等を尊重し、社会において担うべき責任を理解し、公正に判断する能力を養う。
2. 日本文化と外国文化の理解を通じ、国際感覚を高め、相互の個性を尊重し、信頼し合う精神を養う。
3. 課題設定と問題解決の能力を高め、課題に積極的に挑戦する意欲を養う。
4. 健康な精神と肉体を培うとともに、趣味の涵養を通して豊かな人間性を養う。
5. 国際社会に対応できる英語をはじめとする外国語によるコミュニケーション能力を養う。
6. 総合的な視野から専門分野を理解し、その研究に必要な基礎知識を養う。

科目群は、上記目標に対応させて以下のとおりとする。

- ① 人間性・社会性科目群（個人の尊重・社会的責任の認識）
- ② 地域性・国際性科目群（国際的感覚の育成）
- ③ 課題設定・問題解決科目群（課題設定・解決能力の育成）
- ④ スポーツ・表現活動科目群（スポーツ・表現活動を通じた人間性の育成）
- ⑤ 外国語科目群（外国語によるコミュニケーション能力の育成）
- ⑥ 専門基礎科目群

I.外国人留学生特例科目の履修方法

外国人留学生の「共通教養科目・基礎科目・外国語科目」の履修は、基本的には一般学生と同じです。たとえば、卒業要件となる「修得すべき単位数」は、一般学生の「修得すべき単位数」と全く同じです。

また、外国人留学生は、一般学生と同じクラスの授業を受講することを原則とします。

しかし、外国人留学生の学習効果を高めるために、外国人留学生だけを対象とした科目（「外国人留学生特例科目」とよびます）として、別表に示した外国人留学生特例科目を開講しています。

留学生の皆さんは、全員入学時に留学生入試の出願時に提出した日本留学試験(EJU)の成績でレベル判定を行います。ただし、農学部と生物理工学部所属の学生は、希望者にのみ判定します。

卒業に必要な共通教養科目の単位数は、「日本概論 1」、「日本概論 2」、「日本概論 3」、「日本概論 4」を含む共通教養科目全体の中から修得します。なお、法学部、薬学部、総合社会学部に所属する外国人留学生は、地域性・国際性科目群の単位として認めます。国際学部に所属する外国人留学生は「日本概論 1」、「日本概論 2」は「人間性・社会性科目群」に、「日本概論 3」、「日本概論 4」は「地域性・国際性科目群」の単位として認めます。

卒業に必要な外国語科目の単位数は、「日本語関連科目」、「初修英語関連科目」を含む外国語科目全体の中から修得します。日本語科目に関しては、指定レベルのクラスのみ、受講が許可されますので、履修登録の際には充分注意してください。

【令和 2～4(2020～2022)年度入学生適用】

学部		外国語科目必要単位
法 学 部		18 単位以上
経 済 学 部		20 単位以上
経 営 学 部		18 単位以上
理 工 学 部		14 単位以上
建 築 学 部		14 単位以上
薬学部	医療薬学科	12 単位以上
	創薬科学科	令和 2～3 年度入学 : 14 単位以上 令和 4 年度入学 : 16 単位以上
文 芸 学 部		14 単位以上 文学科英語英米文学専攻は第二外国語 4 単位以上
総合社会学部		18 単位以上
国 際 学 部		令和 2 年度入学 : 共通教養科目を含めた 30 単位以上
		令和 3～4 年度入学 : 共通教養科目を含めた 26 単位以上
情 報 学 部		14 単位以上
農 学 部		14 単位以上
生物理工学部		14 単位以上

【平成 27～令和元(2015～2019)年度入学生適用】

学部		外国語科目必要単位
法 学 部		18 単位以上
経 済 学 部		20 単位以上
経 営 学 部		18 単位以上
理 工 学 部		14 単位以上
建 築 学 部		14 単位以上
薬学部	医療薬学科	12 単位以上
	創薬科学科	14 単位以上
文 芸 学 部		14 単位以上 文学科英語英米文学専攻は第二外国語 4 単位以上
総合社会学部		18 単位以上
国 際 学 部		共通教養科目を含めた 30 単位以上
農 学 部		14 単位以上
生物理工学部		14 単位以上

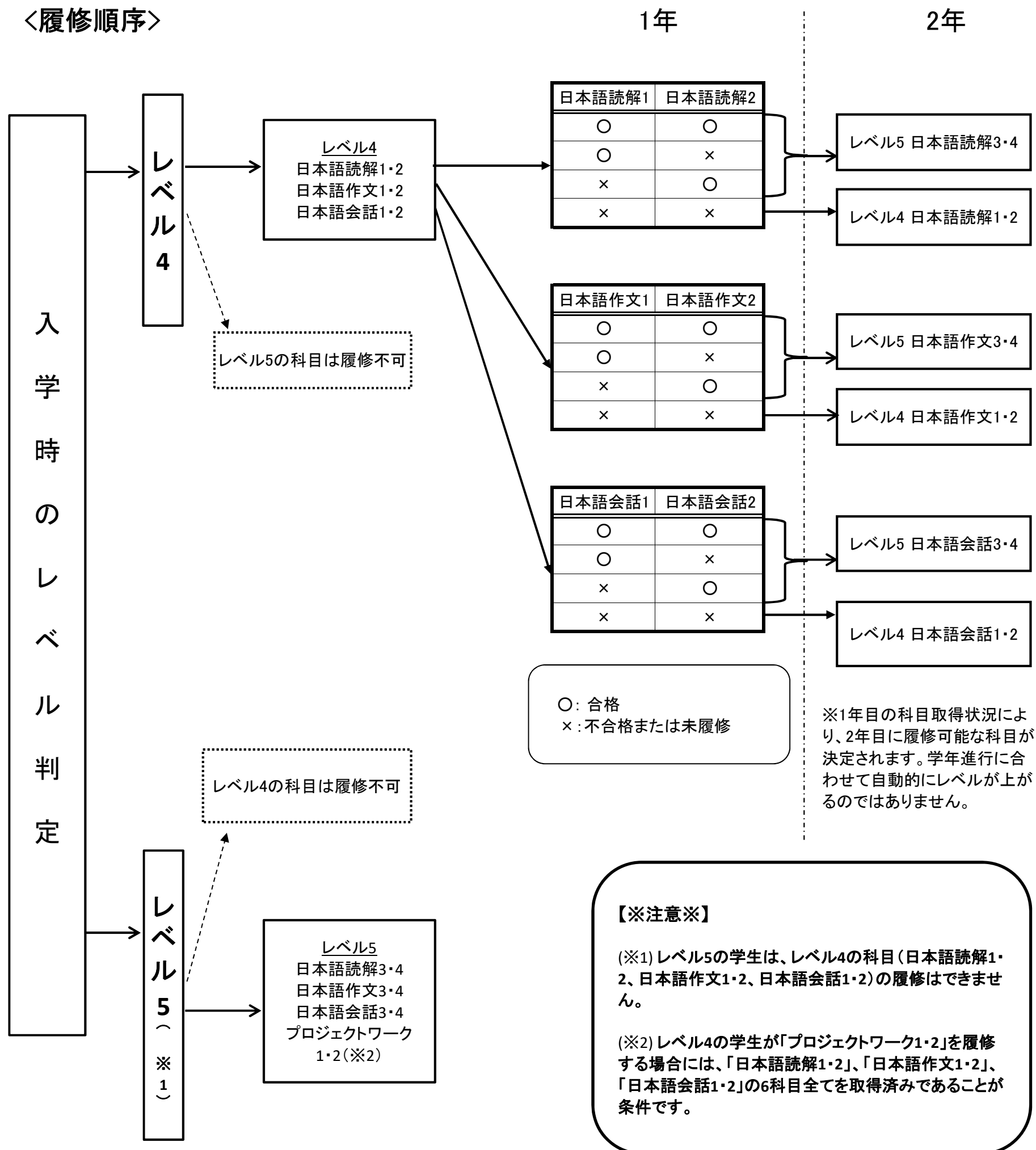
***履修に関する注意事項(日本語科目について)**

入学時にレベル 4 と指定された場合、その年度はレベル 4 の日本語科目しか履修できません。レベル 5 と指定された場合は、指定レベルより下位のレベル 4 のクラスを履修することはできません。

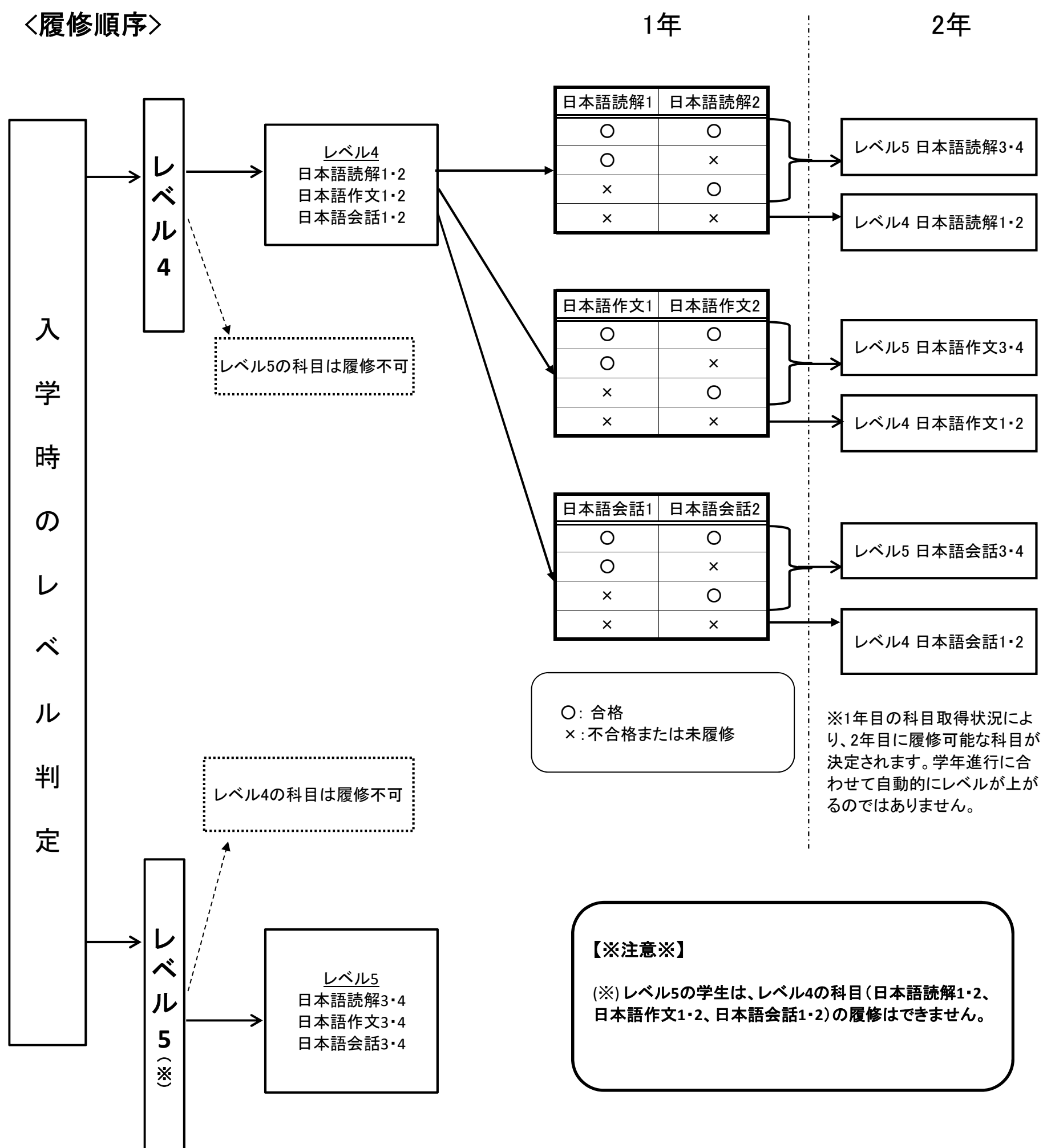
「日本語アカデミックリーディング 1・2」、「日本語リサーチメソッド 1・2」、「日本語プレゼンテーション 1・2」は、大学での学習に必要なアカデミックスキル演習のクラスですので、レベル 5 以上での履修が望ましいです。

入学時にレベル 4 と指定された場合、次年度にレベル 5 のクラスを履修するためには、当該年度中にレベル 4 のクラスの単位取得が条件となります。例えば、「日本語読解 3」を履修するためには、前年度に「日本語読解 1」または「日本語読解 2」のどちらかを単位修得している必要があります。また、学年が上がっても、自動的に上位レベルの日本語クラスは履修できません。指定レベルのクラスから履修してください。さらに、「読解」「作文」「会話」はそれぞれ上位クラスと連携していますから、例えば、レベル 4 の「日本語読解 1」または「日本語読解 2」を単位修得しても、自動的にレベル 4 を全て修了したとはみなされません。「作文」「会話」科目を履修する際には、レベル 4 の科目から履修してください。次ページの履修チャートをよく確認してください。

日本語読解1・2・3・4、日本語作文1・2・3・4、日本語会話1・2・3・4の履修順序について



日本語読解1・2・3・4、日本語作文1・2・3・4、日本語会話1・2・3・4の履修順序について



外国語履修についての注意事項

(1)「外国語科目」の履修制限について

外国語の履修に関しては、母国において公用語・母国語およびそれに準ずる日常語として使用されている言語を履修することは認められません。

(2)「日本語科目」の履修について

英語が必修となっている学部所属する外国人留学生は、「日本語関連科目」の修得単位をもって「英語」の単位に代えることができます。

* 文芸学部文学科英語英米文学専攻に所属する外国人留学生は、「日本語関連科目」の単位認定はできません。

* 国際学部所属する外国人留学生は、「日本語関連科目」の修得単位をもって「英語」の単位に読み替えることはできません。

(3)「初修英語科目」の履修について

「初修英語基礎1・2」と「初修英語コミュニケーション1・2」は、英語をほとんど学んだことのない学生を対象とした科目です。

* 文芸学部文学科英語英米文学専攻に所属する外国人留学生は、「初修英語関連科目」の単位認定はできません。

* 国際学部所属する外国人留学生は、単位認定はできません。

以上、これらの科目の受講を希望する場合は、必ず1回目の授業に出席して、「受講許可」を得てください。これらの科目は、教育効果などの観点から定員を設けていますので、定員を超過した場合は受講を制限することがあります。

また、反対に受講者数が極端に少ない場合、不開講で受講クラス変更することがあります。

II. 外国人留学生特例科目

1. 令和2～4（2020～2022）年度入学生

(1) 外国人留学生特例科目表〔令和2～4（2020～2022）年度入学生適用〕

科目群	科目群詳細	授業科目	単位数	必修・選択の別		プレイスメントテストに基づく対象レベル	履修学年、期別、セメスターと1週あたりの授業時間数		備考	履修状況				
				必修	選択		1～4学年							
							前期	後期						
共通教養科目	共通教養	日本概論1	2		○	全レベル	2							
		日本概論2	2		○			2						
		日本概論3	2		○		2							
		日本概論4	2		○			2						
外国語科目	日本語	日本語読解1	1		○	レベル4	2							
		日本語読解2	1		○			2						
		日本語作文1	1		○		2							
		日本語作文2	1		○			2						
		日本語会話1	1		○		2							
		日本語会話2	1		○			2						
		日本語読解3	1		○	レベル5	2							
		日本語読解4	1		○			2						
		日本語作文3	1		○		2							
		日本語作文4	1		○			2						
		日本語会話3	1		○		2							
		日本語会話4	1		○			2						
		日本語アカデミックリーディング1	1		○	レベル4～5	2							
		日本語アカデミックリーディング2	1		○			2						
		日本語リサーチメソッド1	1		○		2							
		日本語リサーチメソッド2	1		○			2						
		日本語プレゼンテーション1	1		○		2							
		日本語プレゼンテーション2	1		○			2						
	プロジェクトワーク1	1		○	レベル5	2								
	プロジェクトワーク2	1		○			2							
英語		授業科目	単位数	必修・選択の別		/	1学年		2学年		備考	履修状況		
							前期	後期	前期	後期				
							必修	選択						
		初修英語基礎1	1		○		2							
		初修英語基礎2	1		○			2						
初修英語コミュニケーション1	1		○			2								
初修英語コミュニケーション2	1		○				2							

・表中の授業時間数欄に記載されている2は1週に1時限(90分)を表す。

(2) 令和4(2022)年度「外国人留学生特例科目」時間割
〔令和2～4(2020～2022)年度入学生適用〕

曜日	時限	科目名	レベル	担当者	受講学部等	教室(R4年度)	
月	2	日本語読解	1(前期)	4	森久 国雄	経営学部を除く 全学部	1-303
			2(後期)				
		日本語リサーチメソッド	1(前期)	4～5	笠松 瑞子	法学部、経営学部、 建築学部のみ	1-304
			2(後期)				
	3	日本語リサーチメソッド	1(前期)	4～5	笠松 瑞子	法学部、経営学部、 建築学部を除く全学部	1-304
			2(後期)				
火	1	日本語アカデミックリーディング	1(前期)	4～5	木津 可奈子	経営学部	1-302
			2(後期)				
	2	日本語アカデミックリーディング	1(前期)	4～5	森久 国雄	経営学部を除く 全学部	1-301
			2(後期)				
	3	日本語読解	1(前期)	4	森久 国雄	経営学部	1-301
			2(後期)				
	4	日本語読解	3(前期)	5	森久 国雄	経営学部を除く 全学部	1-301
			4(後期)				
水	2	プロジェクトワーク	1(前期)	5	河崎 絵美	全学部	1-303
			2(後期)				
	3	日本語作文	3(前期)	5	川渕 節子	経営学部	1-303
			4(後期)				
	4	日本概論	1(前期)	全	戸井田 克己	全学部	18-N303
			3(前期)				
5	日本概論	4(後期)	全	平林 一成	全学部	1-302	
		1(前期)					
	初修英語基礎	2(後期)	/	溝上 瑛梨	全学部	1-301	
		1(前期)					
木	2	日本語プレゼンテーション	1(前期)	4～5	野村 由香里	経営学部	1-303
			2(後期)				
		日本語プレゼンテーション	1(前期)	4～5	小原 貴子	経営学部を除く 全学部	1-304
			2(後期)				
	3	日本語作文	1(前期)	4	清水 優子	経営学部	18-S202
			2(後期)				
		日本語作文	1(前期)	4	高橋 朋子	経営学部を除く 全学部	18-S303
			2(後期)				
	4	日本語読解	3(前期)	5	藤井 和子	経営学部	1-301
			4(後期)				
5	日本概論	2(後期)	全	岡田 昌彰	全学部	38-N321	
		1(前期)					
	初修英語コミュニケーション	2(後期)	/	有本 好一郎	全学部	18-S202	
		1(前期)					
金	1	日本語会話	1(前期)	4	野村 由香里	経営学部	1-303
			2(後期)				
		日本語会話	1(前期)	4	小原 貴子	経営学部を除く 全学部	1-302
			2(後期)				
	2	日本語会話	3(前期)	5	笠松 瑞子	経営学部	1-301
			4(後期)				
		日本語会話	3(前期)	5	野村 由香里	経営学部を除く 全学部	1-303
			4(後期)				
	3	日本語作文	3(前期)	5	小原 貴子	経営学部を除く 全学部	1-304
			4(後期)				

(3)外国人留学生特例科目の科目名とその概要

【令和 2～4(2020～2022)年度入学生】

《共通教養・全レベル》

「日本概論 1・2」

日本の社会・政治・経済・地理について学びます。

「日本概論 3・4」

日本の文化について学びます。

《日本語・レベル 4》

「日本語読解 1・2」

大学のテキストや論文を独力で読むための読解力の養成を図ります。新聞や雑誌を中心に日本の文章に慣れていくことを目指します。

「日本語作文 1・2」

論理的な文章を書くための文体や文法、書式、よく使われる表現などを学びます。いくつかのテーマを選び、課題作文を仕上げます。

「日本語会話 1・2」

大学生活を送るのに必要な会話について、さまざまな場面を設定し、それにふさわしい表現を学びます。

《日本語・レベル 5》

「日本語読解 3・4」

テキストや論文を、その大意を把握、理解しながら適当なスピードで読むことを目指します。新聞や雑誌にとどまらず、小説などにも取り組みます。

「日本語作文 3・4」

あるトピックについて自分の主張、見解、考察などを客観的な根拠に基づいて、論理的に述べる練習をします。

「日本語会話 3・4」

大学生活で必要とされる交渉や議論をより効果的に行うための能力の向上を図ります。またスピーチにも取り組みます。

《日本語・レベル 4～5》

「日本語アカデミックリーディング 1・2」

小説や時事問題を読むだけでなく、それについて自分の意見を述べたり、反論したりする力を養成します。また専門書や翻訳本にも取り組み、幅広いジャンルの読み物に触れます。

「日本語リサーチメソッド 1・2」

自ら設定した問題について、データ収集を行い、文献を調べて考察を述べるといったプロセスを学びます。また発表原稿やレジュメの書き方も学習します。

「日本語プレゼンテーション 1・2」

ゼミや研究会での発表などのアカデミックプレゼンテーションに必要な能力の向上を図ります。PPT の効果的な使い方や表現も学びます。

《日本語・レベル 5》

「プロジェクトワーク 1・2」

あるトピックやテーマについて、グループ活動を通して理解を深めます。その内容や成果を発表した後、全体討論を行います。総合的な、4 技能にわたる高度な日本語能力を必要とする発信型の授業です。

※ レベル 4 の学生が履修する場合には、「日本語読解 1・2」、「日本語作文 1・2」、「日本語会話 1・2」の 6 科目全てを取得済みであること

《英語》

<1 年次>

「初修英語基礎 1・2」

英語を基礎から学ぶ学生を対象に、主として英語の語彙・文法・読解力の定着と養成を目標とします。基礎文法の確認に加えて初歩的なリスニングや発音練習も行います。

<2 年次>

「初修英語コミュニケーション 1・2」

初修英語基礎の内容の上に、英語力の総合的な基礎力をより確実なものにすることを目標とします。必要に応じて TOEIC テスト対策なども織り込みます。

II. 外国人留学生特例科目

1. 平成27～令和元（2015～2019）年度入学生

(1) 外国人留学生特例科目表〔平成27～令和元（2015～2019）年度入学生適用〕

科目群	科目群詳細	授業科目	単位数	必修・選択の別		プレイスメントテストに基づく対象レベル	履修学年、期別、 Semester と1週あたりの授業時間数		備考	履修状況		
				必修	選択		1～4学年					
							前期	後期				
共通教養科目	共通教養	日本概論1	2		○	全レベル	2					
		日本概論2	2		○			2				
		日本概論3	2		○		2					
		日本概論4	2		○			2				
外国語科目	日本語	日本語読解1	1		○	レベル4	2					
		日本語読解2	1		○			2				
		日本語作文1	1		○		2					
		日本語作文2	1		○			2				
		日本語会話1	1		○		2					
		日本語会話2	1		○			2				
		日本語読解3	1		○	レベル5	2					
		日本語読解4	1		○			2				
		日本語作文3	1		○		2					
		日本語作文4	1		○			2				
		日本語会話3	1		○		2					
		日本語会話4	1		○			2				
		日本語アカデミックリーディング1	1		○	レベル4～5	2					
		日本語アカデミックリーディング2	1		○			2				
		日本語リサーチメソッド1	1		○		2					
		日本語リサーチメソッド2	1		○			2				
	日本語プレゼンテーション1	1		○	2							
	日本語プレゼンテーション2	1		○			2					
	能力試験対策1	1		○	全レベル	2						
	能力試験対策2	1		○			2					
英語		授業科目	単位数	必修・選択の別		/	1学年		2学年		備考	履修状況
		初修英語基礎1	1		○		前期	後期	前期	後期		
							2					
		初修英語基礎2	1		○			2				
									2			
		初修英語コミュニケーション1	1		○				2			
							2					
初修英語コミュニケーション2	1		○				2					

・表中の授業時間数欄に記載されている2は1週に1時限(90分)を表す。

(2)令和4(2022)年度「外国人留学生特例科目」時間割
 [平成27～令和元(2015～2019)年度入学生適用]

曜日	時限	科目名		レベル	担当者	受講学部等	教室(R4年度)			
月	2	日本語読解	1(前期)	4	森久 国雄	経営学部を除く 全学部	1-303			
			2(後期)							
		日本語リサーチメソッド	1(前期)	4～5				笠松 瑞子	法学部、経営学部、 建築学部のみ	1-304
			2(後期)							
	3	日本語リサーチメソッド	1(前期)	4～5	笠松 瑞子	法学部、経営学部、 建築学部を除く全学部	1-304			
			2(後期)							
火	1	日本語アカデミックリーディング	1(前期)	4～5				木津 可奈子	経営学部	1-302
			2(後期)							
	2	日本語アカデミックリーディング	1(前期)	4～5	森久 国雄	経営学部を除く 全学部	1-301			
			2(後期)							
	3	日本語読解	1(前期)	4	森久 国雄	経営学部	1-301			
			2(後期)							
	4	日本語読解	3(前期)	5	森久 国雄	経営学部を除く 全学部	1-301			
			4(後期)							
水	3	日本語作文	3(前期)	5	川渕 節子	経営学部	1-303			
			4(後期)							
	4	日本概論	1(前期)	全	戸井田 克己	全学部	18-N303			
			3(前期)							
	5	日本概論	4(後期)	全	平林 一成	全学部	1-302			
			1(前期)							
初修英語基礎	2(後期)		溝上 瑛梨	全学部	1-301					
木	2	日本語プレゼンテーション	1(前期)	4～5	野村 由香里	経営学部	1-303			
			2(後期)							
		日本語プレゼンテーション	1(前期)	4～5				小原 貴子	経営学部を除く 全学部	1-304
			2(後期)							
	3	日本語作文	1(前期)	4	清水 優子	経営学部	18-S202			
			2(後期)							
	日本語作文	1(前期)	4	高橋 朋子	経営学部を除く 全学部	18-S303				
		2(後期)								
	4	日本語読解	3(前期)				5	藤井 和子	経営学部	1-301
			4(後期)							
	5	日本概論	2(後期)	全	岡田 昌彰	全学部	38-N321			
			1(前期)							
能力試験対策		2(後期)	全	藤井 和子				全学部	1-301	
		1(前期)								
初修英語コミュニケーション	2(後期)		有本 好一郎		全学部	18-S202				
金	1	日本語会話	1(前期)	4	野村 由香里	経営学部	1-303			
			2(後期)							
		日本語会話	1(前期)	4				小原 貴子	経営学部を除く 全学部	1-302
			2(後期)							
	2	日本語会話	3(前期)	5	笠松 瑞子	経営学部	1-301			
			4(後期)							
		日本語会話	3(前期)	5				野村 由香里	経営学部を除く 全学部	1-303
			4(後期)							
	3	日本語作文	3(前期)	5	小原 貴子	経営学部を除く 全学部	1-304			
			4(後期)							

(3)外国人留学生特例科目の科目名とその概要

【平成 27～令和元(2015～2019)年度入学生】

《共通教養・全レベル》

「日本概論 1・2」

日本の社会・政治・経済・地理について学びます。

「日本概論 3・4」

日本の文化について学びます。

《日本語・レベル 4》

「日本語読解 1・2」

大学のテキストや論文を独力で読むための読解力の養成を図ります。新聞や雑誌を中心に日本の文章に慣れていくことを目指します。

「日本語作文 1・2」

論理的な文章を書くための文体や文法、書式、よく使われる表現などを学びます。いくつかのテーマを選び、課題作文を仕上げます。

「日本語会話 1・2」

大学生活を送るのに必要な会話について、さまざまな場面を設定し、それにふさわしい表現を学びます。

《日本語・レベル 5》

「日本語読解 3・4」

テキストや論文を、その大意を把握、理解しながら適当なスピードで読むことを目指します。新聞や雑誌にとどまらず、小説などにも取り組みます。

「日本語作文 3・4」

あるトピックについて自分の主張、見解、考察などを客観的な根拠に基づいて、論理的に述べる練習をします。

「日本語会話 3・4」

大学生活で必要とされる交渉や議論をより効果的に行うための能力の向上を図ります。またスピーチにも取り組みます。

《日本語・レベル 4～5》

「日本語アカデミックリーディング 1・2」

小説や時事問題を読むだけでなく、それについて自分の意見を述べたり、反論したりする力を養成します。また専門書や翻訳本にも取り組み、幅広いジャンルの読み物に触れます。

「日本語リサーチメソッド 1・2」

自ら設定した問題について、データ収集を行い、文献を調べて考察を述べるといったプロセスを学びます。また発表原稿やレジュメの書き方も学習します。

「日本語プレゼンテーション 1・2」

ゼミや研究会での発表などのアカデミックプレゼンテーションに必要な能力の向上を図ります。PPT の効果的な使い方や表現も学びます。

《日本語・全レベル》

「能力試験対策 1・2」

能力試験 1 級やビジネス日本語テストのための対策クラスです。語彙や文法、読解力などの例題を通じ、効果的に実力を伸ばし、合格を目指します。

《英語》

<1 年次>

「初修英語基礎 1・2」

英語を基礎から学ぶ学生を対象に、主として英語の語彙・文法・読解力の定着と養成を目標とします。基礎文法の確認に加えて初歩的なリスニングや発音練習も行います。

<2 年次>

「初修英語コミュニケーション 1・2」

初修英語基礎の内容の上に、英語力の総合的な基礎力をより確実なものにすることを目標とします。必要に応じて TOEIC テスト対策なども織り込みます。

Ⅲ. 外国人留学生の共通教養科目・外国語科目の履修に関する特例について

近畿大学学則（抄）

（授業科目及び単位数）

第 11 条 前条に規定する授業科目及びその単位数は、別表(1)のとおりとする。

2 留学生の教育課程については、前項に定めるほか、別表(6)のとおりとする

附 則（令和3年5月25日）

1 この学則の改正は、令和3年5月25日から施行する。

別表(6) 外国人留学生の共通教養科目・外国語科目に関する特例

（グローバルエディケーションセンター）

授業科目	時期	単位	年次
《共通教養科目》			
日本概論1	前後	2	1～4
日本概論2	前後	2	1～4
日本概論3	前後	2	1～4
日本概論4	前後	2	1～4
《外国語科目》			
[日本語関連科目]			
日本語読解1	前後	1	1～4
日本語読解2	前後	1	1～4
日本語作文1	前後	1	1～4
日本語作文2	前後	1	1～4
日本語会話1	前後	1	1～4
日本語会話2	前後	1	1～4
日本語読解3	前後	1	1～4
日本語読解4	前後	1	1～4
日本語作文3	前後	1	1～4
日本語作文4	前後	1	1～4
日本語アカデミックリーディング1	前後	1	1～4
日本語アカデミックリーディング2	前後	1	1～4
日本語リサーチメソッド1	前後	1	1～4
日本語リサーチメソッド2	前後	1	1～4
日本語会話3	前後	1	1～4
日本語会話4	前後	1	1～4
日本語プレゼンテーション1	前後	1	1～4
日本語プレゼンテーション2	前後	1	1～4
プロジェクトワーク1	前後	1	1～4
プロジェクトワーク2	前後	1	1～4

[初修英語関連科目]			
初修英語基礎1	前	1	1
初修英語基礎2	後	1	1
初修英語コミュニケーション1	前	1	2
初修英語コミュニケーション2	後	1	2

<履修方法>

共通教養科目

卒業に必要な共通教養科目の単位数を、『日本概論 1』、『日本概論 2』、『日本概論 3』及び『日本概論 4』を含む共通教養科全体の中から修得する。

外国語科目

(1) 卒業に必要な外国語科目の単位数を、『日本語関連科目』及び『初修英語関連科目』を含む外国語科目全体の中から修得する。

(2) 『英語』が必修となっている学部所属する外国人留学生は、『日本語関連科目』の履修した修得単位をもって『英語』の単位に代えることができる。

(3) 外国語科目の履修に関しては、母国において、それを公用語、母国語又はそれに準ずる日常語として使用している言語の履修は、認めない。

(4) 『初修英語関連科目』の履修は、英語をほとんど学んだことのない外国人留学生に限り履修を認める。

(5) 英語を母国語とする外国人留学生は、『初修英語関連科目』は履修できない。各学部開講の『第二外国語科目』又は『日本語アカデミックリーディング 1・2、日本語リサーチメソッド 1・2、日本語プレゼンテーション 1・2』を履修すること。

MEMO



令和4（2022）年度

外国人留学生特例科目 履修要項

令和4（2022）年4月1日 発行

発行者 近畿大学 グローバルエデュケーションセンター

編集 近畿大学 グローバルエデュケーションセンター

所在地 〒577 - 8502 東大阪市小若江3 - 4 - 1

電話番号 (06)4307-3081